

# ドイツ日記

白石 明日香

## 1日目

約30時間の長旅を終え、休む暇なく私たちはアウクスブルクへ向かいました。私にとって初めての海外だったのでとてもわくわくしていました。初めて目にするドイツの街並みは本当に素晴らしいものでした。昼食は、市役所の地下にあるラーツケラーと呼ばれるレストランに行きました。初めてのドイツ料理でしたが、どれもとても美味しく感動しました。その後のホストファミリーとの対面は少し緊張しました。しかし、アウクスブルクの街を一緒に散歩したり、家でもとても歓迎してくれてすぐに打ち解けることができました。



アウクスブルクの街並み

## 2日目

この日は朝早くから出発し、シンデレラ城のモデルといわれるノイシュヴァンシュタイン城に行きました。以前からずっと行きたいと思っていた場所なので、本当に夢のようでした。また、お

城まで馬車に乗って行くというお姫様のような体験もできました。朝食は自然豊かな場所で、ホワイトソーセージとプレッツェルを食べました。その後に食べたアップルパイもとても美味しかったです。この日はドイツを満喫することができて本当に素敵な思い出ができました。



ノイシュヴァンシュタイン城へ向かう馬車

## 3日目

この日は小学校と保育所に行きました。子供たちが歌を歌ってくれてとても感動しました。夜はアウクスブルクの団員たちとケーキ作りをしました。カラオケをしたりして、たくさんの方と仲良くなることができました。

## 4日目

この日はアウクスブルクの教会に行きました。ステンドグラスが美しかった

のがとても印象に残っています。その後はF Cアウクスブルクのサッカースタジアムに行きました。夜は送別会。まだアウクスブルクに来てばかりなのにといい気持ちでした。浴衣を着て尼崎の紹介や福笑いなどをしてとても盛り上がりました。楽しかった反面、もう少しでお別れだという気がして少し寂しい気持ちにもなりました。

## 5 日目

楽しみにしていたホストファミリーとの休日。多くの団員がミュンヘンへ行くなか、私たちはホストマザーの兄弟の結婚式に出席するためギーンゲンという町に行きました。このような普通では絶対できない貴重な経験をすることができて本当に嬉しかったです。



### 結婚式のようす

アウトバーンでは、時速 170 kmで車を運転していてとてもスリリングでした。ホストファミリーが会議をしている 1 時間、私は一人で可愛らしい小さな田舎町を観光しました。ひとりでアイスを買ってみたり、知らない人に写真を撮ってもらったりなど、とても楽しい時を過ごしました。その後、シュタイフミュージアムに行きました。そこで私はくまのぬ

いぐるみを買いました。夜は、アウクスブルクの中心街をサイクリング。ビアガーデンで念願のカリーヴルストを食べることもできました。この日は本当に充実した日で、忘れられない思い出がたくさんできました。

## 6 日目

ホストファミリーと過ごす最後の日。私は感謝の気持ちを込めて夕食にうどんを作りました。みんな美味しいと言っておかわりをしてくれました。本当にこの家族の一員になることができてよかったと思いました。

## 7 日目

ホストファミリーとお別れ。私はドイツ語で書いた手紙を渡しました。空港へ向かうバスに乗る直前、別れが悲しくなり涙が流れました。バスの中で、この 1 週間を振り返り、素晴らしい人たちに出会い、アウクスブルクを訪れることができて本当によかったと感じました。

## さいごに

この 1 週間は今まででいちばん濃く、いちばん短く感じた 1 週間でした。英語で言いたいことを上手く伝えられないこともあったけど、それ以上に毎日の生活がとても充実していました。初めての海外がアウクスブルクで本当によかったです。一生ものの思い出ができました。この出会いをこれからも大切にしていこうと思います。